

● 地域提案型

平成22年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	マレーシア
2. 事業名	マレーシア国における廃棄物管理業務の効率化事業
3. 事業の背景と必要性	固形廃棄物処理公社は、マレー半島の廃棄物管理処理を実施する機関であるが、平成20年に設立された間もなく、廃棄物処理に関するノウハウや知識が十分に培われていない状況である。一方、マレーシア国政府は、廃棄物管理について、リサイクル率や最終処分場の利用率などの数値目標を掲げており、その役割を担う予定となっている公社の管理能力向上は急務となっている。平成21年12月にJICAマレーシア事務所を通じて廃棄物管理事業に関するセミナーを公社に対して開催した経緯から公社との連携が生まれ、平成22年7月に改めて廃棄物全般に関する管理能力向上のための技術協力の依頼を受けることとなった。
4. プロジェクト目標	【固形廃棄物処理システムの構築】 固形廃棄物管理公社が指定したハンタウジャヤ地域において、収集運搬の効率化や種類別回収を図り、有価物のリサイクルシステムが構築される。また、家庭用バスケットの普及やコンポストセンターの設立といったコンポストによる廃棄物管理システムが構築される。
5. 対象地域	ハンタウジャヤ地区
6. 受益者層（人数規模）	ハンタウジャヤ地区の住民：約11万人
7. 活動及び期待される成果	<成果> <ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物基本情報による種類別回収システムの検証 2. コンポストセンターの設置 3. コンポストバスケット利用者の増加 <活動> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【廃棄物基本調査】組成分析、運搬方法、分布調査基本情報調査 2. 【生ごみコンポスト技術指導】建設予定地調査、コンポストセンター設立時の助言、コンポストバスケットの普及活動 3. 【廃棄物管理システムの構築検討】
8. 実施期間	平成23年6月～平成25年2月
9. 事業の実施体制	実施主体：北九州市環境局環境国際戦略課 業務従事者派遣連携：（財）北九州国際協力協会、（株）ジェイベック
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	北九州市環境局環境国際戦略課（福岡県北九州市）
2. 対象国との関係、協力実績	平成22年、マレーシア・シブ市にて同様のコンポスト普及事業（草の根技術協力事業）を実施